

**青梅市立第四小学校** 授 業 改 善 **3**年

## 3年1組 6月9日 (月)3校時

国語「自然のかくし絵」(東京書籍 こくご3年) 1/8時

本時のねらい 感想を交流し、学習の見通しをもつことができる。

## 本時のこだわり

○ UDの「しかけ」を用いて、「読みたい・伝えたい・考えたい」を引き出す

投用		
学習活動	指導・支援(○) 評価(☆)	
1. ナナフシの写真を見て考える。	【しかけ】一部(画像)を隠す。	
T.これはなんの写真でしょう 視覚化	〇ルーズから次第に見える範囲を狭めてい	
C.昆虫がいる	き、意欲を高める。	
T.第二問 これはなんの写真でしょう・・・	Oナナフシの生態のふしぎさに目を向けさ	
	せ、興味をもたせる。	
T.他にもかくれている虫の話があるんだけど…	〇保護色の昆虫クイズを2つほど出す。	
2. 段落を確認しながら全文を通読する。	○教師の判読を聞き、内容の大体を掴ませる	
読んだ感そうを伝えよう。	〇段落の意味や役割について確認し、教科書	
アウトプット型めあて	に段落番号をふらせる。	
3. 感想をまとめる	○文章を読んで、驚いたことや、不思議に思	
4 = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	ったことをノートに書かせる。	
4. 感想を伝え合う。	○感想をもつことが難しい子は、 <b>どの昆虫が</b>	
T ペアで伝え合いったら、座りましょう。起立。	<b>すきかと、その理由</b> を言わせる。 <u>↑</u>	
	焦点化	
	スではでは入ることができた。(共言)	
3. 子自計画(子びマック)を確認する   T.他にも保護色で身を隠している昆虫はいると思いますか?	   ○ <b>学びマップ</b> で、全 8 時間の学習計画を示	
て、いると思う。	し、現在地を示す。	
C.調べたい	視覚化	
T.では、この説明文を学習した後にかくし絵ブックを作りま		
す。そのための学習計画を確認しましょう。		



青梅市立第四小学校 授業改善善 3年

#### 3年1組 6月10日 (火)4校時

# 国語「自然のかくし絵」(東京書籍 こくご3年) 2/8時

本時のねらい 各段落の内容について捉え、全体の構成を捉えることができる。

## 本時のこだわり

- ○「内容の理解→論理の理解」の展開を分け。全員が内容を理解した上で論理的な読み方めぐって検討する
- 始め・中・終わりを2パターンにしぼり、論点(問いは始めと中どちらか)を焦点化する。

/IXI					
	学習活動	指導·支援(O) 評価(☆)			
導入	1. 前時までを振り返る。	・感想を紹介して、価値付けることで学習意			
	2. 本時のめあてを確認する	欲を高める。   アウトプット型めあて			
	文しょうを「はじめ」「中」「おわり」に分けて、組み立てを説明しよう。				
展開	3. 全文を音読する 視覚化	〇全文を1枚に集約した教材文を配布			
展開①内容		・全文を三つに分けることを知らせ、音読し			
容	4. 1~4段落の文の誤りを探す	ながらどこで分けられるかを考えさせる。			
	【しかけ】置き換え。				
展	5. 問いを探させる	<ul><li>・文末「~でしょうか」を手掛かりに問いを</li></ul>			
展開②	T.このお話は「物語文」ですか「説明文」ですか	探させる			
	T.なぜ「説明文」といえますか	・接続詞「このように」に着目させ、「終わ			
論理	C.「問い」と「答え」があるから	り」が⑫段落であることを捉えさせる。			
	T.問いの文はどれですか?線を引きましょう				
	6. はじめ・中・終わりに分ける。	  ・選択肢を示し、名前マグネット			
		を黒板に貼らせる。  共有化			
	A) 12 11109876543 21	・③ (一つ目の問い) が「はじめ」か「中」			
	B) 12 1110987654 321	のどちらに入るかに焦点化して話し合わせる。 焦点化			
	7 ペア→全体で交流する				
	★全員参加 	Oペアで理由を話し合った上で (水ボネントラ			
	ゆさぶり 問いが2あるけど?	発表させる。			
		・問いが2つ <b>33</b> あることに気付かせせる。			
ま	8. 「はじめ・中・おわり」の役割を確認する。	〇問いが2つある場合もあり、その場合2つ			
まとめ	学びマップで、今日の学習を振り返る。	目の問いは、中に入れることを確認。			



## 3年1組 6月13日 (金)4校時

# 国語「自然のかくし絵」(東京書籍 こくご3年) 4/8時

本時のねらい 段落ごとの内容を読み取り、要点を書くことができる。。

## 本時のこだわり

○「要点指導→要点づくり」の展開を分け。全員が内容を理解した上で論理的な読み方めぐって検討する

展	展開					
	学習活動	指導・支援(○) 評価(☆)				
導入	1.ダウト読み	・4段落を5秒で伝えて、と投げかけ、要点				
	2. 4~6段落を音読する	にまとめる必要性に気づかせる。				
(5分)	3. 本時のめあてを確認する					
	だんらくをみじかくまとめよう。					
展問	4. 4段落の要点文を検討する。しかけ②選択肢	・要点にまとめるポイントに気付き易い例を提				
展開	コノハチョウは、表は鮮やかな青とオレンジの羽です。	示する。				
論		•選択肢を示し、名前カードを黒板に貼らせる。				
(論理)	C.Oです。コノハチョウの特徴が書いてある	共有化				
1	C.×です。敵のから身をかくす方法ではない	・「問い」の文を提示し、要点文がその答えに				
5  分	C.×です。問いの答えになっていない	なっているか考えさせる。				
	5 要点にまとめるためのポイントを確認し、4段落	<ul><li>要点まとめのポイントを焦点化してまとめさ</li></ul>				
	を要点文にまとめる。	せる				
	①定型文(主語+敵から身をかくす方法)	・テンプレートを示し、当てはめるだけで要点				
	②問いの答えになっている。	が作れるようにする。				
	コノハチョウは、羽を閉じると色も形もかれ葉そっくり					
	になる					
展開	6 各自で5段落の要点をまとめる。	ワークシートを配布				
	主語は一般から身をかくす方法	・キーワードに丸つけ、不要な箇所に取り消し				
20分	7 ペアで交流する。 【全員参加】	線を付けさせる。				
	T.起立、みじかくまとめた文を伝えたら座ります。 	• 残りをつなげて要点文を書かせる				
-		<ul><li>ペアで「5段落の要点」を伝え合う。</li></ul>				
まとめ	8. 要点という言葉を知る。	・「かくし絵ブック」を作るにあたり、資料な				
Ø	学びマップで、今日の学習を振り返る。 	どを読みまとめる時にも役立つことを伝える。   				



# **青梅市立第四小学校** 授 業 改 善 **3**年

## 3年1組 6月17日 (火)6校時

# 国語「自然のかくし絵」(東京書籍 こくご3年) 5/8時

本時のねらい 2つめの「問い」とそれに対する「答え」を読み取ることができる。

## 本時のこだわり

○ 展開1(内容理解・要点づくり)→展開2(論理・2つの問いの違いを考える)流れで、 筆者の論の進め方について考えさせたい。

	<b>ルフコンエエト</b>	***
	学習活動	指導・支援(○)評価(☆)
導入	1 児童が作った要点文を紹介する。(2分)	・感想を紹介して、価値付ける
	2. 音読圖~⑩ (3分)	ことで学習意欲を高める。
	3. めあての確認	
	2つ目の問いとそれに対する答えを説明しよう	
	4 0000 FBU 1 + mm - 7	
展開	4 2つ目の「問い」を確認する。	○三段構成の図を提示し、穴あ
1	・三段構成の図を提示し、「中」の後半であることを確認する。	きの部分を考えさせる。
内容	<ul><li>「では」という言葉に着目し、これまでの段落との関係について考えさせる。</li></ul>	
理解	5 2つ目の「問い」に対する答えを読み取る。	
(内容理解・要点	・⑧の「問い」に対する「答え」が⑨⑪⑪であることを読み取らせ、 <b>要点をまと</b>	○要点にまとめた文をカードに
点	<b>න</b> ්.	書き、要点カードとして掲示
	T.2つ目の「問い」「では、こん虫は、どんなときでもてきから身を守ること	する。
	ができるのでしょうか」の「答え」はどこかな。	〇中心文を見付けること、短く
	T.どんな内容か読み取って、本当に「問い」の「答え」なのかを考えていこ	するためによけいな文や言葉
	う。問いの答えになる中心となる文を探して、短くまとめよう。	は削ることを伝える。
	T.⑪に「ところが」と書いてあるけれど、⑨⑩とはどういう関係なんだろう	○9⑩と⑪の関係についてペア
		で話し合わせる。【全員参加】
	6 終わり⑫に書かれていることを読み取る。	☆問い②に対する答えを説明で
	<ul><li>⑫段落を要点文にまとめる。「このように」という言葉に着目させる。</li></ul>	きている(発言)
展 開 2	7 ③段落の「問い」と8段落の「問い」の違いを考える。	○③段落の大きな「問い」と、
	T.③段落の問いと③段落の問いの違いはなんだろう?	展開から出てきた⑧段落の「問
(論理	T.どうして問いが2つもあるのだろう?	い」との違いに気付かせる。
#±		〇「大きな問い」と「小さな問
		い」という言葉を教える。
	8. 学びマップで、今日の学習を振り返る。	

